

平成28年度 第3回白馬高等学校学校運営協議会 議事録 (概要)

- 1 日時 平成28年10月18日(火) 14時00分～16時00分
- 2 場所 白馬高等学校会議室等
- 3 参加者 出席者9名(欠席者1(奥原委員) ※途中退席1(宮嶋委員)
この他、長野県教育委員会事務局高校教育課3名
白馬・小谷両村関係者4名
白馬高等学校関係者3名
白馬高等学校生徒7名(1年国際観光科在籍)

4 次第

- (1) 開会の言葉
- (2) 長野県教育委員会挨拶(今井高校教育課長)
- (3) 白馬高等学校長挨拶(北村校長)
- (4) 現状報告(北村校長)
- (5) 授業見学・校内施設見学
- (6) 国際観光科生徒との懇談
 - ① 生徒自己紹介(7名)
 - ② 寮生による白馬高校紹介(パワーポイント使用)
 - ③ 意見交換(高校生活と地域とのつながり)

◇本校を志望した動機

- <生徒A> 2つの理由で国際観光科を志望した。1つは、山が好きなので、山について学びたいと思ったこと。もう1つは、この地域には外国人が多いため、英語を使って困っている人の手助けをしようと考えたため。
- <生徒B> 将来、海外への留学を考えており、そのため実践的な英語力を身に付けたいと思ったため。
- <生徒C> 英語を勉強することが好きなことと、登山が好きのため。
- <生徒D> 苦手な英語を克服するためと、地元の事を理解して将来の進路に活かしたいと思ったため。
- <生徒E> ロータリークラブやライオンズクラブの交換留学制度を利用して留学したいため。
- <生徒F> 将来白馬で仕事をするには、外国人とのコミュニケーションが必要であると思ったため。
- <生徒G> 将来、英語を利用した仕事をしたいと思ったため。

◇学校生活について

- <生徒G> 何不自由なく、生活できている。
- <生徒F> 全く違う環境で育った県外生との交流は良い意味で刺激がある。
- <生徒E> 学校生活はとても楽しい。県外生と関わりを持てる場所はとても楽しい。
- <生徒D> 県外のような地域の文化を知ることができ、また観光の授業で様々な場所に行くことも勉強になっている。
- <生徒C> 豊かな自然環境での学校生活を満喫している。

<生徒B>県内外の多くの同級生との触れ合いが良い刺激になっている。また、英語の授業内容がとても濃く、毎日が充実している。

<生徒A>恵まれた自然環境の下で勉強ができることはとても楽しい。

◇将来の進路

<生徒A>信州大学に進学し、将来は北アルプス北部の山岳救助隊に入隊したい。

<生徒B>英語の力を付け、海外の大学に留学したい。

<生徒C>大学に進学し、将来は英語を使う職業に就きたい。

<生徒D>具体的に決まっていはいないが、白馬の良さをしっかり伝えられるような職業に就きたい。

<生徒E>動物に関する仕事に就きたいが、まずは高校を卒業したらイギリスに留学したいと思っている。海外に出て自分の世界観を変えられたら、しっかりとした将来の道が決まると思っている。

<生徒F>将来については決まっていはいないが、白馬で働ければ良いと思っている。

<生徒G>大学に進学するかは未定。将来は英語で歌える歌手になりたい。そのため、英語をしっかりと勉強しようと思っている。

◇意見交換

<岸委員>英語の力をさらに身に付けるためには、どのような指導、授業を望みますか。

<生徒B>授業は受験英語が中心だと思う。もう少し、実践的な英語力が身に付くような授業にしてもらえると嬉しい。

<生徒E>ALTの先生と話す機会がもっと増えれば、留学しようとする生徒も増えると思う。

<岸委員>国際観光科を卒業するのだから、英語で観光案内ができるようになってもらいたい。それは英会話力をつけるだけでなく、人と接する力を身に付ける意味合いもある。

<横川委員>体験学習でフィールド(校外)に出る授業が多いためか、(数学等の)授業(の進度)が少し早いような気がする。内容を十分理解できているのか心配だ。

<生徒A>自分で予復習の時間を確保できているので、苦に感じていない。

<生徒B、C>寮で勉強する時間が確保できているので問題ない。

<生徒D>授業に若干ついていけない。理解できるところとそうでないところの差がある。

<生徒E>授業の進度はゆっくりだと思う。プリントを使用した授業が多いので、テスト勉強をしっかりとやればテストへの対応は十分だ。

<横川委員>普通科と国際観光科の授業内容は同じなのか。

<北村委員>数学と国語は同じである。また、本来は習熟度別授業を行うところだが、事情により一斉授業で対応している授業もあり、生徒に迷惑をかけている。なるべく早く対応していきたい。

<横沢委員>皆さんが英語をしっかりと勉強して、留学またはこの地で観光等の仕事について、地域に貢献したいという、前向きな意思はよく伝わってきた。3年後に白馬高校の国際観光科を卒業して良かったと思えればと思う。白馬・小谷の様子をしっかりと理解してほしい。

<武田委員>留学はただ英語を学ぶだけでない。留学先で日本の政治や文化、歴史等について訊かれた時に、しっかり答えられるかが重要だ。ただ英語を学ぶだけではなく、日本の文化や歴史等をしっかりと伝えるくらいの意気込みを持ってほしい。

<下川委員>是非、公営塾に通って勉強を頑張ってもらいたい。県外生は、本当にやる気を持って学

校や寮で生活しているという話を聞いてとても嬉しい。

<松本委員>ほとんどの人がこれからもしっかりと英語を学びたいと答えたが、学校以外の国内で学びたい人、海外で学びたい人はどのくらいいるのか。例えば、留学制度を利用して、欧米に行きたいのか、それとも英語を介してアジアなどに行きたいのか。

外国語を学ぶには、外国人と接するのが一番良いと思うが、その時に自分の考えをしっかりと伝えられないといけない。私は英語も中国語も話せないが、日本の政治について訊かれると、堂々と答えざるを得ない。逆にしっかりした考えを持って交流できれば、その国の文化等、様々なことが分かってくる。

これから皆さんが、語学を勉強する上で必要なことがあれば、すべて叶うわけではないが、言ってもらいたい。

<岸委員>ロータリークラブの留学制度を利用する場合、面接試験がある。面接試験の目的は、語学力の有無を判断するのではなく、国際親善大使という立場でどれだけ相手の事を理解し、聞く力があるかという点を見る。

<白戸会長>大学1年の時、タイの山中に行き、そこで日本の少数民族について訊かれたが答えられなかった。日本人の学生が留学してうまくいかないのは、言葉が話せないからではない。海外の留学生は必死になって勉強をしている。留学で大切なのは、言葉の問題ではなく生き方の問題だと思う。

白馬高校が取り組んでいる学びはアクティブラーニングで、机上の学びでなく実際の社会に触れながらの学びである。最先端の学習方法だ。自分たちの文化を伝えられることが大事で、さらに言うと、人に伝えたいと思えるような接し方を自分の地域にすることが、言葉がうまくなることだ。自分の生活している現状について、良いも悪いもきちんと認識して、それを人にしっかりと伝えることが大変重要だと思う。ぜひ頑張ってもらいたい。

(7) その他

次回の学校運営協議会は2月～3月で調整

(8) 閉会